

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 ケンコーマヨネーズ株式会社

コート番号 2915 URL <http://www.kenkomayo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 炭井 孝志

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 奥田 洋

TEL 03-5317-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績 (平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	12,948	4.0	555	282.5	531	264.2	306	252.9
21年3月期第1四半期	13,484		145		145		86	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	23.76	
21年3月期第1四半期	6.73	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	29,665	9,844	33.1	761.88
21年3月期	29,538	9,593	32.4	742.20

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 9,814百万円 21年3月期 9,561百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		11.00	11.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)		0.00		11.00	11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期									
連結累計期間	25,500	6.1	1,120	282.5	1,050	282.7	420	181.8	32.60
通期	50,500	5.1	1,750	79.1	1,600	73.7	530	76.1	41.14

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）無  
新規 社（社名 ） 除外 社（社名 ）

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

（注）詳細は、4ページ【定性的情報 財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更（四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの）

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年3月期第1四半期 12,911,000株 21年3月期 12,911,000株

期末自己株式数 22年3月期第1四半期 28,414株 21年3月期 28,414株

期中平均株式数（四半期連結累計期間） 22年3月期第1四半期 12,882,586株 21年3月期第1四半期 12,883,584株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報 財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日）におけるわが国の経済は、昨年秋以降の世界的な景気後退から、一部持ち直しの動きがみられますものの先行きには多くの不透明要因があり予断を許さない状況にあります。

食品業界におきましては、雇用、所得環境の厳しさから、個人消費の回復が期待できない中で、価格も含めた価値ある商品の開発や安全対策の強化がより求められています。

このような事業環境の中、当社グループは平成22年3月期を初年度とする新中期経営計画『KENKO Victory ROAD 2009』の策定を行い、経営指針として「時代の変化に対応できる筋肉質の体制作り」を定め、次の三つのテーマを掲げ、当社グループの収益基盤を安定強固なものとするべく推し進めております。

メーカーの原点である商品開発と生産性向上への徹底的なこだわり

経営の見える化と経営判断のスピードアップ

売上高経常利益率 3%以上の確保

また、今年度の具体的な施策は次のとおりです。

1. 重点分野ごとのきめ細かな販売戦略の展開
2. 新ブランド投入による数量の拡大
3. 新機軸商品（ケンコーディライトシリーズ、ポテト関連シリーズ商品）の拡販と新規市場・新分野の開拓
4. 生産体制の最適化による固定費の圧縮
5. 原材料原価の低減
6. 最適物流体制の更なる追求
7. 販売費及び一般管理費の一層の削減

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は12,948百万円（前年同四半期比536百万円の減少、4.0%減）となりました。これは、原料価格の下落に伴う販売価格の改定（値下げ）と、景気の後退を背景にした消費の低迷による売上数量減少による影響です。製品別の販売状況であります。調理加工食品につきましては、サラダ化戦略としてサラダ領域及び食シーンの拡大としての魚介類等の商品「ツナサラダ」、新機軸商品「麺サラダ」等が大手製パン及びファーストフードに採用され伸張しました。マヨネーズ・ドレッシング類については、当社新機軸商品であるケンコーディライトシリーズは堅調に推移し、また新分野対策商品のクッキングソースも市場に浸透し始めております。また、タマゴ加工品につきましては、お弁当メニュー向の厚焼きタマゴや、麺用錦糸タマゴ等がコンビニエンスストアに採用されましたが、焼成パン用の「ミックスエッグ」及びフィリング用の「フレッシュエッグ」等が減少となりました。

利益面につきましては、連結営業利益は555百万円（前年同四半期比409百万円の増加、282.5%増）、連結経常利益は531百万円（前年同四半期比385百万円の増加、264.2%増）、四半期純利益は306百万円（前年同四半期比219百万円の増加、252.9%増）となりました。

これは、売上高及び売上数量が微減となったものの、前述の販売対策、製造コスト低減や経費の削減等の収益回復策の効果が表れてきており、増益に寄与することが出来ました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は29,665百万円(前連結会計年度比127百万円の増加、0.4%増)となりました。これは主に現金及び預金が140百万円、受取手形および売掛金が107百万円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は19,821百万円(前連結会計年度比123百万円の減少、0.6%減)となりました。これは主に未払法人税等が199百万円減少したことなどによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は9,844百万円(前連結会計年度比251百万円の増加、2.6%増)となりました。これは主に利益剰余金が164百万円、その他有価証券評価差額金が84百万円増加したことによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、5,171百万円(前年同四半期比1,842百万円の増加)となりました。

#### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、319百万円(前年同四半期比50百万円の減少)となりました。

#### 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、137百万円(前年同四半期比6百万円の増加)となりました。

#### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、44百万円(前年同四半期比418百万円の増加)となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年5月15日付当社「平成21年3月期 決算短信」にて発表いたしました平成22年3月期の業績を修正しております。詳細につきましては本日開示いたしました「平成22年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (簡便な会計処理)

##### たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ、正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

#### 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

当社の法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

#### ( 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理 )

##### 税金費用の計算

連結子会社における税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法等により計算しております。なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

	(単位：百万円)	
	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,171	5,030
受取手形及び売掛金	8,403	8,295
商品及び製品	1,254	1,316
仕掛品	22	5
原材料及び貯蔵品	713	800
繰延税金資産	264	289
その他	154	166
貸倒引当金	15	15
流動資産合計	15,968	15,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,691	4,753
土地	3,901	3,901
その他(純額)	2,570	2,536
有形固定資産合計	11,163	11,191
無形固定資産		
無形固定資産合計	434	466
投資その他の資産		
繰延税金資産	269	278
その他	1,880	1,769
貸倒引当金	51	57
投資その他の資産合計	2,099	1,990
固定資産合計	13,697	13,648
資産合計	29,665	29,538

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,584	6,634
短期借入金	1,975	430
1年内返済予定の長期借入金	1,549	2,645
未払法人税等	199	398
その他の引当金	315	418
その他	3,010	2,744
流動負債合計	13,635	13,270
固定負債		
長期借入金	3,898	4,263
繰延税金負債	6	12
退職給付引当金	358	350
その他の引当金	111	121
その他	1,809	1,926
固定負債合計	6,185	6,673
負債合計	19,821	19,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829	1,829
資本剰余金	2,097	2,097
利益剰余金	5,764	5,599
自己株式	16	16
株主資本合計	9,674	9,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	151	67
繰延ヘッジ損益	6	7
為替換算調整勘定	4	7
評価・換算差額等合計	140	51
少数株主持分	29	31
純資産合計	9,844	9,593
負債純資産合計	29,665	29,538

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	13,484	12,948
売上原価	10,408	9,548
売上総利益	3,075	3,399
販売費及び一般管理費	2,930	2,844
営業利益	145	555
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	9	9
その他	26	24
営業外収益合計	38	36
営業外費用		
支払利息	37	42
その他	0	17
営業外費用合計	38	60
経常利益	145	531
特別利益		
賞与引当金戻入額	48	-
補助金収入	-	27
受取保険金	-	16
その他	15	-
特別利益合計	64	44
特別損失		
たな卸資産評価損	18	-
関係会社出資金売却損	8	-
減損損失	-	55
その他	6	2
特別損失合計	34	58
税金等調整前四半期純利益	176	517
法人税、住民税及び事業税	33	181
法人税等調整額	58	31
法人税等合計	91	213
少数株主損失( )	2	1
四半期純利益	86	306



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	176	517
減価償却費	242	243
減損損失	-	55
その他引当金の増減額(は減少)	176	109
受取利息及び受取配当金	12	11
支払利息	37	42
売上債権の増減額(は増加)	225	107
たな卸資産の増減額(は増加)	147	132
仕入債務の増減額(は減少)	768	49
未払金の増減額(は減少)	170	97
その他	325	125
小計	819	741
利息及び配当金の受取額	12	11
利息の支払額	36	41
法人税等の支払額	425	392
営業活動によるキャッシュ・フロー	369	319
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	369	96
補助金収入	250	-
無形固定資産の取得による支出	26	35
その他	2	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	144	137
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(は減少)	-	1,545
長期借入金の返済による支出	334	1,460
配当金の支払額	127	128
その他	0	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	462	44
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	3
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	248	140
現金及び現金同等物の期首残高	3,577	5,030
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,329	5,171

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)  
該当事項はありません。

## (5) 注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
固定資産の減価償却累計額 有形固定資産の減価償却累計額 12,661百万円	固定資産の減価償却累計額 有形固定資産の減価償却累計額 12,483百万円

(四半期連結損益計算書関係)

第1四半期連結累計期間

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
給料手当	620百万円
退職給付費用	9百万円
その他の引当金繰入額	138百万円
物流費	1,235百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 現金及び現金同等物の四半期末残高5,171百万円は四半期連結貸借対照表の流動資産「現金及び預金」の四半期末残高と一致しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)  
該当事項はありません。